2016.2.1【No.390】

大阪府グラフィックサービス協同組合

オージーエス ニュース
OGS NEWS

February 2 2016

２ 月 の 行 事 予 定

日	曜	行事	日	曜	行事
1	月		17	水	コスモス会役員会
2	火		18	木	キヤノンｉＰカレッジ
3	水		19	金	
4	木		20	㊏	
5	金	**ＯＧＳ役員会**（16 時　徐園） **近畿地協第１回幹事会・懇親会**（徐園　17 時～幹事会、18:30 ～懇親会）	21	㊐	
6	㊏	プリントネクスト 2016	22	月	
7	㊐		23	火	
8	月		24	水	
9	火		25	木	
10	水		26	金	
11	㊍	建国記念の日	27	㊏	断裁機安全講習会等（勝田製作所）
12	金		28	㊐	
13	㊏		29	月	
14	㊐				
15	月	ＯＧＳ勉強会 （16 時～ＪＰビル８階会議室）			
16	火				

コスモス会 第26回総会・懇親会開催

於：たかつガーデン

平成28年1月22日（金）たかつガーデンに於いて第26回コスモス会総会が相変わらずの高い出席率の中、開催されました。

総会の前に18日に急性心筋梗塞で亡くなられた坂本久美子さんを悼み、黙祷を捧げ開式となりました。

舛田 寿子さんが議長を務め全ての案件が可決された後、役員改選となり、田中幸恵さんを会長とする新体制が決まりました。

基調報告では岡会長から、25周年記念の淡路島記念旅行は、会員相互の親睦を更に深め、生涯の思い出となる素晴らしい旅行であったとの報告がありました。又、会員の高齢化に伴う不安もあるが、若い世代の人たちが頑張って、今以上にたくさんの会員と30周年を祝いたいと期待を込めた言葉で締めくくられました。

引き続き行われた懇親会は橋野明代さんの司会で始まりました。

田中新会長の挨拶と新役員紹介の後、ＯＧＳの理事さん方から新体制への期待と激励の言葉をいただきました。共に若い世代が頑張ってくれるものと大いに期待を寄せる申年の幕開けです。

和気あいあいの懇親会も、最後は山本副理事長の『前へ一歩前進』の中締めで閉会となりました。

報告：コスモス会

岡加代子前会長から田中幸恵新会長へバトンタッチ

㈱モトヤ　コラボレーションフェア2016を終えて

平成28年1月29日（金）・30日（土）

平成28年1月29日金曜日と1月30日土曜日の両日、天満橋OMMビルにて㈱モトヤ主催による総合印刷機材展を行いました。平成14年以来大阪と東京、神戸で開催を続けて今回は14回目となります。600社1500名のご来場をいただきました。

今回のテーマは「攻めの印刷～Printing of attack」という事で、印刷物で価格競争するのではなく「自社の強み」を活かし付加価値をつけた印刷物を提案し、クライアントがいかに利益を出すかという事をテーマに「攻める」印刷商材を中心に、印刷会社様15社、出展メーカー様約50社の合計約65社の協賛で開催いたしました。

機材展示だけの展示会が多い中、コラボレーションという事で、出展社様とご来場社様がお互いに仕事を共有する出会いの場にしようと平成14年からこの形態で続けています。「付加価値をつけた印刷物」により「儲かるビジネス」を生み出すお手伝いをモトヤが行うことでビジネスパートナーを見つけていただく企画です。

恒例のP-1グランプリ（ポスターコンテスト）は「関西の食」というテーマで20社様に競っていただきました。年賀状グランプリも今回は50社様の参加をいただきました。

又、ものづくり補助金が本年度も実施されておりますが、弊社は特販課という専門部署を設置し中小企業診断士の資格を持つ弊社小林が専任で今まで200件以上の採択実績のデーターベースを参考にしながら約50%以上の合格実績を出しております。

少しでもお客様に喜んでもらえることを常に考え実践し「お客様とともに栄える」を社是にして信頼していただける商社を目指してこれからもいろいろと情報提供していきたい所存ですのでこれからもアドバイスをいただき今後ともよろしくお願いいたします。

㈱モトヤ　大阪本社　田中晋一

第８回　役員会 報告

日　時　平成 28 年１月７日（木）16：00 ～
場　所　ウェスティンホテル大阪
出席者　岩下理事長、黒木副理事長、山田副理事長、
　　　　山本副理事長、岡専務理事、小幡理事、
　　　　宗次監事
議　案（本部・各部報告その他）
- ＯＧＳ新年互礼会について
- 本部・コスモス会・平成会　報告
- 2/5（金）近畿地協第１回幹事会・懇親会開催について

総 務 報 告

１月
７日（木）　ＯＧＳ新年互礼会（ウェスティンホテル大阪）
８日（金）　日印産連新年交歓会（東京）、
　　　　　　大印工新春会員交流大会（太閤園）
13日（水）　コスモス会役員会
22日（金）　コスモス会総会

次回役員会
２月５日（金）　16時　徐園

JaGra コンテスト 第1回 InDesin

第１次審査の採点基準と第２次審査の問題点大公開

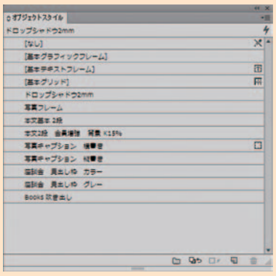
GS01（NO.770）から転載

第１次審査の採点基準と第２次審査の問題点について２回に分けて掲載します。

第1次審査で出題された小冊子の制作課題は、以下のような基準で採点がおこなわれました。

■ InDesign 技能

InDesign の機能を活用して、支給データを迅速に処理可能な設定が施されているか、印刷物に適した組版処理がなされているかという観点で、下記を採点しました。



●マスターページ

台割ごとに適宜マスターページを用意しているかを審査しました。マスターに登録せず、ローカルページ上でのみ処理された箇所については、それが課題の前提条件である「２年間の継続受注を想定した月刊誌」に適した処理かどうかで妥当性を判断しました。

●組版設計（主に段落スタイル）

他の発行月の誌面においても使用可能な設定であり、原稿量の増減があった場合でも対応可能な誌面設計、組版設計になっているかを審査しました。

段落スタイルを作成し、原稿を流し込んだ後の処理の効率化、原稿差し替え、修正が生じた場合の処理のスムーズさが考慮されているか、見出し、本文など、体裁ごとに適宜スタイルが登録されているか、他者が編集することを想定し、スタイル名が規則化されわかりやすい名前付けがされているかも審査のポイントです。

●キャプション処理

写真・図版のキャプション処理について審査しました。キャプション用段落スタイルの指定があること、写真・図版とのアキを含めてオブジェクトスタイル登録があるかを審査しました。キャプション用フレームをオブジェクトスタイルに登録することで、複数の箇所に効率的にキャプションを配置できると考えます。

●段落設定

段落設定について審査しました。箇条書きなどでの２行目以降の字下げについてインデントを使用しているか、文中の罫線について文字原稿の増減に応じて罫線位置が変わる可能性がある場合は、段落境界線を使用しているかどうかなどが審査のポイントです。

行頭一字下げは、インデントではなく文字組み設定を選択するなど、適宜設定を使い分けているかどうかも重要な見極めとなります。

●表組み

表組みについて、表機能が使用されているか、セルスタイルが活用されているかを審査しました。罫線とテキストフレームを組み合わせて表を作成しているケースが見られましたが、修正への対応を考えると、効率が悪い手法といえます。また、表のセル設定をスタイルに登録することで、次回以降、表の体裁に修正が入った際や他ページに同様の表を挿入する時に作業効率が見込めます。

●レイアウトグリッド

レイアウトグリッドが正しく使用されているかを審査しました。文字組みを中心とした印刷物では、本文など基準となるフォーマットをベースにレイアウトすることが望ましく、その点でレイアウトグリッドの使用を推奨します。また、レイアウトグリッドと整合性のないフレームグリッドを作っていたり、テキストフレームによって本文組みを制作している場合は NG としました。

●タブ設定

箇条書きなどで項目間のアキをそろえる際、タブを使用しているかを審査しました。スペース入力でアキをそろえるケースも見受けられましたが、修正が入った時のことを考えると、タブの使用が望ましいと考えます。

●文字揃え

テキストフレーム内の文字揃え（文字パネル／文字揃え、段落パネル／文字組み）について審査しました。

●レイヤー

レイヤー機能を活用しているかを審査しました。背景画像が配置されたページについては、背景画像と本文を別レイヤーで

管理した方が編集上の操作ミスなどが防げると考えられることから、背景画像用レイヤーを使用している場合は◎と採点しました。

●角丸オブジェクトの処理

角丸オブジェクトが適切に作成されているかを審査しました。作成手法については、InDesign の角オプションによる設定、パスファインダーによる処理、さらに Illustrator で描画したオブジェクトを InDesign へ配置した場合も可としました。

■ 印刷技能

支給データなどについて、印刷データに適した処理がなされているかという観点で、下記を採点しました。

●画像処理

各ページの配置画像、PDF配置について審査しました。フォーマットについては下記を基準とし、画像、PDFそれぞれについて処理内容を確認しました。

※ファイル形式＝psd/tiff/eps、カラーモード＝CMYK、解像度＝300-350ppi（モノクロはグレースケール、解像度＝266-350ppi）、リサイズ＝InDesign上80-120%以内

●テキスト整形

支給された文字原稿に含まれる、不備のあるテキストデータを適切に処理しているかを審査しました。具体的には、不要なスペース、機種依存文字の処理、全角／半角文字の混在の統一などです。

●ファイル構成

提出されたデータのファイル構成について審査しました。すべてのファイルを同じ階層に保存しているケースが見られましたが、他者がデータチェックすることを考慮すると、InDesignのパッケージ機能を利用してリンク画像を別フォルダーにまとめて保存するなどの整理が必要と考えます。また、ファイル名は一定ルールに則ってわかりやすく命名するのが望ましいと考えます。今回はインターネット経由でのデータ提出だったため、文字化けのリスクを考え、すべてのファイルを半角英数で統一するなどの配慮も審査のポイントです。

●裁ち落とし

裁ち落としデザインについて、塗り足しが設定されているかを審査しました。

●墨ノセ

墨ノセ処理について審査しました。支給データ内のロゴにIllustratorでのオーバープリント設定が必要です。

●ドロップシャドウ

画像のドロップシャドウの設定値及びオブジェクトスタイル登録の状況を審査しました。

■ その他の加点

●プラスα

採点箇所以外の部分で、採点者が加点すべきと判断した箇所にはプラスαとして加点を加えました。提出されたPDFがPDF/X-1aに準拠していた場合や、共紙・中綴じに適したPDFだった場合、塗り足し3mmが含まれたPDFだった場合、出力仕様書に処理内容や注意を要する箇所が細かく記載されていた場合、割注の使用、文字パネルでの文字回転、斜体設定利用、角オプションの利用など。

■ 第2次審査の問題点については次号に掲載します。

キヤノン iP カレッジ in 大阪

デジタル印刷ビジネス最前線

【日程】 2016年２月18日㈭　13：30～

【場所】 キヤノンマーケティングジャパン㈱　大阪支店
大阪市北区梅田 3-3-10　梅田ダイビル 18 階

【定員】 50 名

【お問合せ】 キヤノンマーケティングジャパン㈱
プロダクション販売促進課責任者
tel 06-4795-9155

第一部　13：30～15：00
テーマ：『印刷ビジネスの未来を創る 6 つの扉』
講師：㈱ビジネスコミュニケーション研究所
田中 信一 氏

第二部　15：15～16：15
テーマ：『防犯だけではないモニタリングカメラの活用』
講師：キヤノンマーケティングジャパン㈱
西日本 NVS 販売促進課 牧　啓之 氏

展示会　16：15～17：00
展示：キヤノン新型オンデマンド機
imagePRESS C10000VP シリーズ展示会

ものづくり補助金について
勉強会のご案内

今年も『ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金』の公募が２月に予定されています。

〆切が４月～５月。公募開始まであまり時間はありませんが、多くの OGS 会員が応募され、新たな設備投資やサービスの開発を促進していただくために以下の内容で勉強会を開催します。

①今年度の補助金について
②過去３年間に採択された OGS 会員企業の事例発表
③補助金の申請相談、コンサルティングサービスについて

日　時：平成 28 年２月 15 日（月）16：00 ～ 18：00
　　　　終了後、情報交換会を予定しています。
場　所：JP ビル８階会議室
　　　　大阪市中央区瓦町 1-6-10
参加費：無料
申し込み：FAX06-6227-8522（OGS 事務局）

OGS NEWS
オージーエスニュース　No.390　２月号
■発行日／2016年２月１日　■発行人／岩下　登　■編集人／前田　明
発行所／大阪府グラフィックサービス協同組合事務局
〈㈳日本グラフィックサービス工業会大阪府支部〉
E-Mail：info@j-ogs.org
URL：http://www.j-ogs.org/
ホウユウ株式会社